

中土佐町 橋梁長寿命化修繕計画

令和 6 年 1 月



中土佐町役場 建設課



1. 中土佐町の長寿命化修繕計画の目的

中土佐町が管理する橋梁は、2023 年現在 196 橋あります。これらの橋梁の多くは、高度成長期以降に架設された橋です。実際、1931 年から 1995 年に全体の 91%である 178 橋が架設されています。また、架設後 50 年以上経過した橋梁が占める割合は現在 45%（88 橋）ですが、20 年後には 90%（177 橋）と橋梁の老朽化が一段と進行していきます。

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

コスト縮減のためには、従来の事後保全型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで中土佐町では、将来的な財政負担の低減および道路交通安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

今回の長寿命化修繕計画では、全管理橋梁（196 橋）に対して計画を策定しました。

		町道 1 級	町道 2 級	町道 その他	合計
全管理橋梁数		11	11	174	196
	うち計画の対象橋梁数	11	11	174	196
	うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
	うち令和5年度計画策定橋梁数	11	11	174	196

表 1 対象橋梁数



3. 本計画による修繕の内容

策定した計画に基づき、橋の傷んだ箇所の補修を計画的に順次実施します。

コンクリートのはくり



鉄筋の露出



床板のひび割れ



変形・欠損



図 1 橋梁の主な損傷例



4. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁の点検は、図2に示すように日常点検、定期点検、臨時点検に区分されます。橋梁維持管理の一環として現状を把握し、安全性や耐久性に影響すると考えられる損傷を早期に発見し対策を行う事により、常に橋梁が良好な状態であることを目指します。

定期点検は、近接した目視点検で行う事とし、橋の健全性は5年毎に定期点検を実施して、部材の損傷種類や損傷程度からⅠ（健全）～Ⅳ（緊急措置段階）の4段階で評価します。

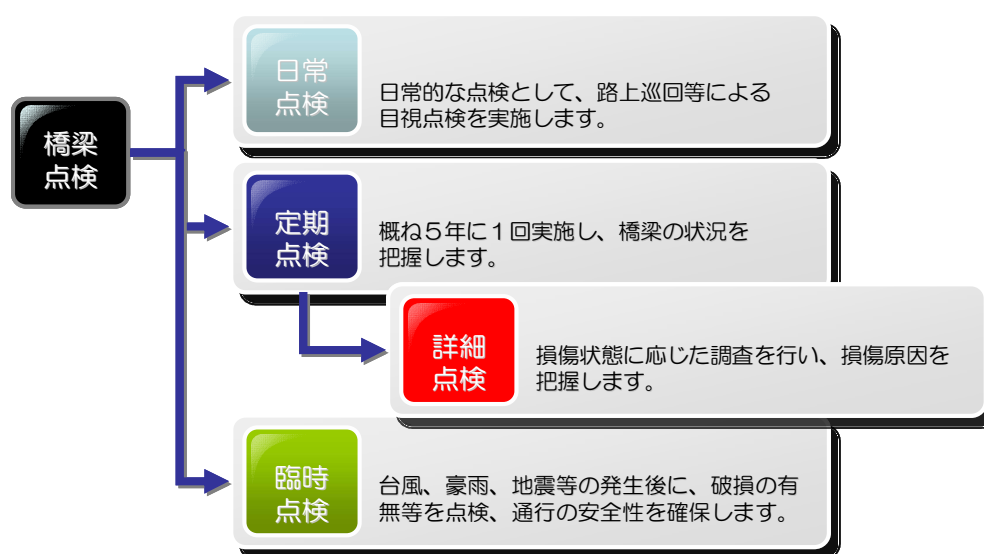


図2 橋梁点検フロー



5. 長寿命化及び修繕に係わる費用の縮減に関する基本的な方針

- ① 定期点検による橋梁の状態の継続的な把握により橋梁の安全性を確保します。
- ② 「事後保全型」の管理から「予防保全型」の管理への移行によりコストの縮減を行います。
- ③ 中長期的な観点から対策の優先順位を判断するとともに予算の平準化を図ります。
- ④ 個々の橋梁の重要度や損傷程度を総合的に評価した修繕計画を策定することにより、効率的な維持管理を行います。
- ⑤ 橋梁点検並びに補修工法選定において新技術・新工法での実施を検討し、作業の効率化・コスト縮減を目指します。
- ⑥ 将来的な維持管理コストを縮減するため、橋梁の利用状況を調査し、住民との調整を進め、橋梁の集約化・撤去について検討していきます。



6. 長寿命化修繕計画による効果

本計画を実施することで、橋の寿命を10年から50年以上延ばすことができ、100年以上供用することも可能といわれています。また、橋梁を維持する費用は総額77億円（事後保全型）から63億円程度（予防保全型）に節約できるとの試算になっており、大幅なコスト削減も図ることができると期待されます。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。

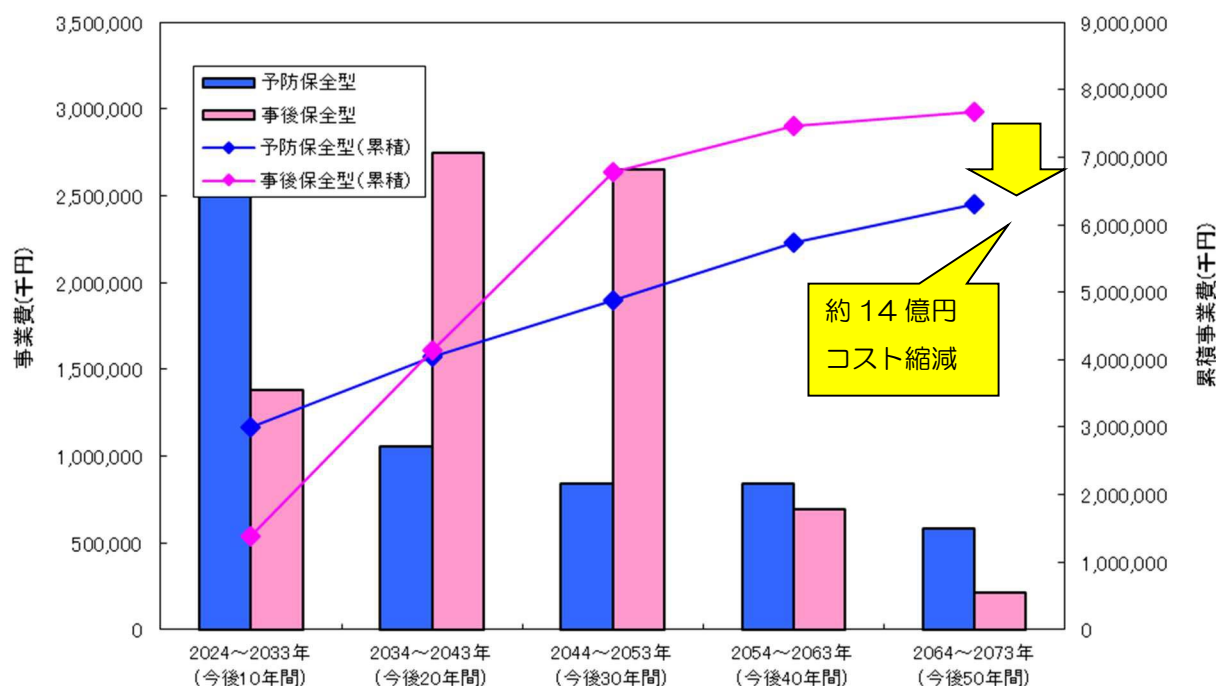


図 3 事後保全型と予防保全型の工事費予測

※上記費用は現時点での概算です。



7. 長寿命化修繕計画に基づく今後の取り組み

中土佐町は、今回策定した長寿命化修繕計画に基づき、予防的な修繕対策の実施を図ります。

また、点検ならびに補修を対象に、新技術・新工法の活用や、迂回路が存在し集約可能な橋梁を対象に、利用状況の調査を行い利用者との協議のうえ、集約化・撤去を検討し、作業の効率化や維持管理コストの削減を目指します。

問い合わせ先：中土佐町 建設課
〒789-1301 高知県高岡郡中土佐久礼 6602-2
TEL 0889-52-2472